

# 『離島と全国を繋げるスポーツDX』

## ～【離島のハンディ克服】AIカメラを活用したオンライン指導～

ス포츠まち！表彰2025

⑩沖縄県石垣市

### ＜目標＞

計画期間：～令和8年3月31日

- ◆ 離島という地域特性である課題をスポーツDX「マチス」を活用して質高く解決していく。
- ◆ 本市のスポーツ施設3か所に導入したマチスのAIカメラを活用して、島外の一流指導者・選手等を招いたオンライン指導を行う。安定的な指導者確保、トップレベルの指導を受ける環境の整備を行う。
- ◆ 島内指導者へもトップレベルの分析を味わえることで指導力の向上を図る。
- ◆ 令和8年度末には10団体による遠隔指導の導入を目指す。



### ＜PRポイント＞

- ◆ パートナーシップ制度を創設し、石垣島スポーツコミッショントークンを中心に、石垣島の課題解決と一緒に取り組むパートナー企業とタッグを組むことで、多方面から協力が得られ、事業を強力に加速できる仕組みを構築
- ◆ 充実したスポーツ資源に加え、より質の高いトレーニングができるようスポーツDXを活用した環境を整備

### ＜現状・課題＞

- ◆ 離島という地域特性の「ハンディ」を抱えている  
⇒ 指導者の島外異動や保護者のボランティア指導者が多く、指導者の質や人数が安定しない  
⇒ プロチームが無く試合観戦も容易にできないため、一流の選手・指導者に日頃から触れ合うことができない

### ＜総合的な取組内容＞

- ①事前にAIカメラで  
試合を撮影  
②撮影した映像をコーチが分析  
オンラインで生徒に指導

- ③オンライン指導を通じてコーチと生徒が交流



オンライン指導ではプレーに対するアドバイスに加え「成長するために何が必要か映像を振り返って考えることの大切さ」を学ぶ

- ◆ 普段接する機会がない一流指導者・選手や、高等教育機関のない石垣島で大学生・専門学生からオンラインで質の高い指導を受けることが可能になることに加え、オンライン指導での交流は将来の人生設計にも寄与する。
- ◆ また石垣島の指導者育成にも繋がり、地域スポーツの価値向上に寄与する。  
→ 地域スポーツの価値向上により、競技者のモチベーション向上、関係人口の増加、スポーツツーリズムの創出など、地域経済への貢献が大いに期待できる。またセカンドキャリア支援にも期待できる。

スポーツDXの活用は、競技・観光・移住など様々な面で全国と石垣島を結ぶ架け橋となる

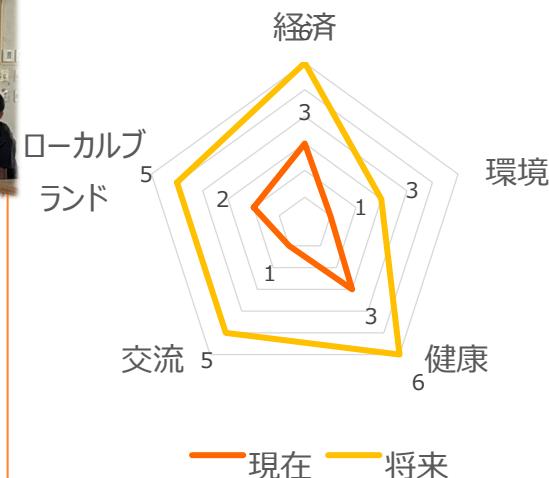
【フォローアップ欄】令和7年度以降における計画の進捗状況

### ＜継続的な取組を確保できる体制（図）＞



パートナーシップを締結し  
スポーツDXを活用したまちづくり

### ＜セルフチェックシート＞



問合せ先・電話番号

石垣市企画部スポーツ振興課  
TEL : 0980-88-6666